

いしづち

愛媛労災病院広報紙第19巻第3号

（通巻第93号）

2020年7月3日発行

発行人：院長 宮内文久

理念

当院は働く人々のために、そして
地域の人々のために信頼される
医療を目指します

基本方針

1. インフォームドコンセントの実践
2. 安全かつ良質な医療の提供
3. 勤労者医療の推進

当院では、医の倫理と病院の理念に基づいた医療を積極的に
推進していくため、患者さんの基本的な『権利と責務』を、
以下のように宣言します。

【患者さんの権利】

- 1) 人としての尊厳を保ちながら、良質の医療を受ける権利
- 2) 十分な説明と情報提供を受け、自らの意思で治療法の
決定やセカンドオピニオンを希望する権利
- 3) 個人に関するプライバシーを保護される権利

【患者さんの責務】

- 1) 疾病や医療を理解するよう努力する義務
- 2) 医療に積極的に取り組む義務
- 3) 快適な医療環境づくりに協力する義務

ふれあい看護週間に各病棟による展示を行いました



不育症.....	2
外来紹介（健康診断部）.....	3
人工呼吸器ってどんなもの？.....	3

あいろんカードの運用を始めました！.....	4
新任医師紹介.....	4

不 育 症

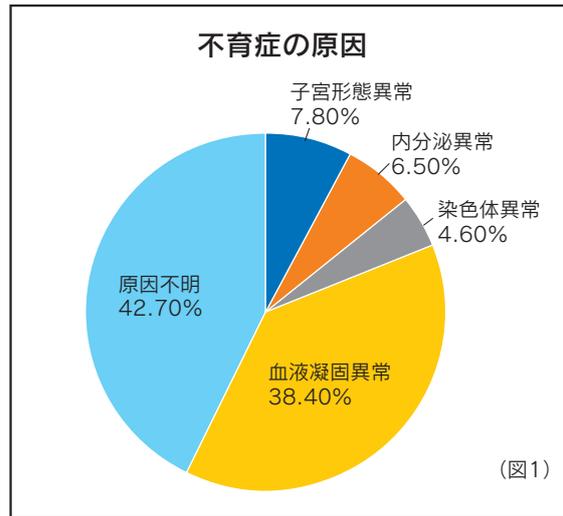
産婦人科部長 南 條 和 也

2回以上の流産を経験したことがある場合を不育症と定義されています。流産は全妊娠の10～20%におこり、2回の流産経験者は4%、3回以上の流産経験者は1%いるとされています。多くはその後赤ちゃんを授かっておられますが、その中に偶発的に起こる流産ではない、不育症の方がおられます。

不育症の主な原因は①血液凝固異常、自己抗体によるもの、②子宮形態異常によるもの、③夫婦のどちらかに染色体の構造異常があるもの、④胎児の染色体に数的異常があるものなどです（図1）。血液凝固異常には抗リン脂質抗体症候群、第Ⅻ因子欠乏症、プロテインS欠乏症、プロテインC欠乏症などがあります。抗リン脂質抗体症候群は不育症の中で唯一治療が確立されている病因とされています。治療は低用量アスピリン、ヘパリン療法が標準となっております。子宮の形態異常には色々なタイプがありますが、中隔子宮が病因とされています。治療としては子宮鏡下中隔切除術が行われますが、有効性は確立していません。夫婦の染色体異常で問題となるのは相互転座という状態です。治療法はありませんが、生殖補助医療を前提とした着床前診断があります。ただ、今の所限られた施設でしか受けられません。胎児の染色体に数的異常がある偶発的流産が不育症の中でも一番多いとされており、これは防ぐことのできない、防ぐ必要のない自然淘汰です。

当科でも不育症の治療を行っております。まずスクリーニング検査として子宮形態検査、内分泌検査、血液凝固検査、選択的検査として血栓性素因検査、夫婦の染色体検査（表1）を行います。血液凝固異常が疑われる症例には低用量アスピリン、ヘパリンの単独あるいは併用療法を行っております。2019年には5例に低用量アスピリン、ヘパリン療法を行い、3例で生児が得られております（表2）。

これからも不育症の検査、治療を積極的に行い、一人でも多くの方が、赤ちゃんを授かるように、お手伝いしていきたいと考えています。



- ### 不育症の検査
- スクリーニング検査
1. 子宮形態検査
超音波検査、MRI検査
 2. 内分泌検査
甲状腺機能検査、血糖検査
 3. 血液凝固検査
抗リン脂質抗体検査
- 選択的検査（自費）
4. 血栓性素因検査
凝固因子検査
 5. 染色体検査
夫婦の染色体検査
- (表1)

症 例

症例	年 齢	流産回数	治療週数	転 帰
①	40	4	7	妊娠7週で流産
②	30	4	14	正常経膈分娩
③	38	4	16	双胎、帝王切開
④	37	5	18	帝王切開
⑤	30	4	8	妊娠8週で流産

(表2)

外来紹介（健康診断部）

看護師長補佐 和田 司

「外来は病院の顔」と言われています。日々、患者さんを温かく迎え、安心して医療が受けられるよう「あいさつ」と「笑顔」を心がけ、思いやりのある看護をスタッフ34名で提供しています。今回は、健康診断部について紹介します。健康診断部では、年間約4500件の健康診断を行っています。昨年度から、当院で健康診断を受けられた方の外来受診（精密検査）予約を行っています。患者さんからは、「予約の時にいろいろ相談できるので、どうやって受診すればいいかわかりました。」と声が聴かれています。仕事の都合がつかず受診を先延ばしにしている方にとっては、予定がたてられることで受診しやすくなっています。

また、今年度から新居浜地域産業保健センターと連携し、当院登録産業医の面談を受けられた方を対象に外来受診（精密検査）予約を始めました。更に、がんや動脈硬化など様々なリスクが

わかる血液検査を始めました。これらでわかることは、①がんの可能性と糖尿病の発症リスク②動脈硬化の初期段階③ピロリ菌の感染と胃粘膜の萎縮度④軽度認知障害等です。

ご希望の方は、健康診断部にお問い合わせください。



人工呼吸器ってどんなもの？

臨床工学技士 大 殿 光 紀

最近、何かとニュースなどでよく話題になっている人工呼吸器ですが、どのようなものだと思いますか？呼吸するのがしんどくなったから呼吸器をつければ治る、治してくれると思っている人もいないのでしょうか。残念ながら呼吸器に病気を治す力はありません。患者さんの肺の状態や呼吸する力が戻るまでをサポートする機械なのです。呼吸器を必要とするいろんな病気を持った患者さんは大勢いますが、呼吸器をただ装着しているだけでは病気は治りません。医師の指示の下、看護師や多くの医療スタッフが少しでも早く患者さんが元気になるように、日々の治療・回復のサポートをしています。

臨床工学技士は生命維持管理装置と呼ばれる医療機器の操作及び保守点検を行う医療職です。人工呼吸器も生命維持管理装置のひとつであり、患者さんが呼吸器を装着しているときの

設定や動作確認など使用中の管理、使用前や使用後の保守点検も行っており、患者さんが安全・安心して使用できるよう日々努力しています。



あいろうカードの運用を始めました！

当院にて5月7日より、かかりつけカード（あいろうカード）の運用を始めました。当院が地域の身近な「かかりつけ病院」として、患者さんと担当医師との信頼、連携の証としてお渡ししております。（「あいろうカード」の交付については、担当医師にご相談ください。）

あいろうカードには、「かかりつけ診療担当医」、複数の「連絡先」、「特記事項」を記入できるようにしておりますので、患者さんご本人の備忘録として役立つほか、ご家族や緊急の際には救急隊等にも当院がかかりつけ病院であることを認識してもらうために役立てることが出来ます。

今後も愛媛労災病院は、大切な地域の皆様の「かかりつけ病院」であり続けられるよう努めてまいります。



新任医師紹介



さだ なり み く
定 成 美 来

診療科：歯科口腔外科
 経験年数：3年
 専門分野：口腔外科
 趣味：バスケットボール

コメント：

福岡から地元の愛媛に戻ってきました。歯科医師4年目でまだまだ未熟ですが一日も早く地元へ貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



こ ばやし ひろ あき
小 林 弘 明

診療科：整形外科
 経験年数：3年
 趣味：将棋

コメント：

山口県出身で、この度の異動を機に愛媛県に初めて来ました。まだ不慣れなこともあります。生活環境もよく馴染んできたところです。地域の皆様の医療に貢献できるよう、わかりやすく丁寧に説明することを心掛け、誠心誠意をもって日々の診療を行っていきたいと思います。